

支援する会ニュース

2022. 4. 21 NO. 78

韓国・金属労組慶南支部 韓国サンケン支会
韓国サンケン労組と連帯する埼玉市民の会
韓国サンケン労組を支援する会

東京都台東区上野1-12-6 3階
中小労組政策ネットワーク気付
Tel:03-5816-3960 fax:03-5812-4086

和田会長、逃げずに争議解決を決断せよ！

4月14日に第77回木曜行動がのべ90人余の参加で行われました。韓国サンケン労組の声は、ソウルから、昌原から、そして米韓共同軍事訓練反対の現場から届きました。和田会長は、6月の株主総会で退任する見通しですが、最後の仕事としてサンケン争議を解決しなければなりません。それが人の道です。逃げるな！和田会長！

〔本社正門前〕



支援する会の仲間の発言で行動開始。韓国からキムヒョンジンさんがソウルへの上京闘争の様子を伝え、「夜になると、道

端の座り込みテントで、表の通りを通る配達のおトバイや車の音などを聞きながら眠りにつく。朝になると、朝ご飯を食べて次の行動へ」と詳細を報告してくれました。ヤンソンモさんも「サンケン電気は5年前私達と結んだ約束を実行しなければならない。それがサンケン電気の地に落ちた評判を回復する唯一の方法だ。もし、本社がずるずる時間を引き延ばし、そのうち私達が諦めるだろうと考えているなら、それは大きな誤算だ」とアピールしました。韓国からはキムウニョンさんも米韓共同軍事訓練を批判しました。埼玉市民の会、HOWSの仲間の挨拶とシュプレヒコールで終了。

〔志木駅南口前〕



埼玉市民の会の発言でスタート。韓国からキムウニョンさんが「韓国サンケンが設立され

た当時、名もない企業だったサンケン電気は現在、世界のグローバル企業として成長した。その裏には私達韓国サンケンの労働者の血と汗があり、労働搾取があった。韓国の労働者は使い捨てる物ではない。そのように粗末に扱っていい存在ではない。私達も人間だ」と訴えました。ペクウンジュさんも「私にとって韓国サンケンの工場は生活費を稼ぐためだけの場所ではなかった。新しいことを学び、家族よりも長い時間を工場の仲間と共に過ごした。いつまでも働き続けたいと思う場所だった。

悲しいときにも楽しいときも傍にいて、喜怒哀楽を共にしてきた仲間たち、本当に美しい思い出が詰まった工場だった」と涙ながらにアピール。韓国からはキムヒョンデさんも訴えました。ノレの会の『明日を信じて』、サンケン太郎さんも『翼をください』をそれぞれ披露しました。群馬合同労組、明大生協労組の仲間のアピールで行動を終えました。

〔池袋・東京事務所前〕

埼玉市民の会の仲間の発言でスタート。韓国からオヘジンさんが「サンケン電気が投資した韓国サン



ケンには韓国の労働者の権利と生活を守るための労働組合が存在した。でも、私達労働組合があるのにサンケン電気は労働組合との話し合いも行わないまま、一方的に清算・解散をして廃業させてしまった。サンケン電気は案山子のような名ばかりの社長、清算人を前に押し立て、私達との話し合いを拒否している。全ての責任と権限があるサンケン電気本社が、私達との団体交渉に応じてこの問題を解決するよう強く要求する。これまでも私達は、サンケン電気が労使合意書に基づいて問題解決に当たること、話し合いを行うことを要請し、そのために闘いを続けてきた」と訴えました。続けて韓統連、尾澤邦子さん、京浜ユニオン、中部労組東邦エンタープライズ分会、全労働者組合、サンケン太郎さんがリレートーク。怒りのシュプレヒコールで終了しました。

〔尾澤裁判の勝利を〕

尾澤裁判の無罪判決を目指し、さいたま地方裁判所へのハガキと署名活動を展開中です。ご協力をお願いします。支援する会まで御連絡下さい。